



## 2021年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年4月13日

上場会社名 アララ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4015 URL <https://www.arara.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩井 陽介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部長 (氏名) 井上 浩毅 TEL (03) 5414-3611  
 四半期報告書提出予定日 2021年4月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年8月期第2四半期の業績 (2020年9月1日~2021年2月28日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	838	-	260	-	249	-	212	-
2020年8月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	35.34	31.86
2020年8月期第2四半期	-	-

- (注) 1. 2020年8月期第2四半期について、四半期財務諸表を作成していないため、2020年8月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2021年8月期第2四半期の前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、2020年11月19日に東京証券取引所マザーズに上場したため、2021年8月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2021年8月期第2四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 当社は、2020年9月2日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。このため、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第2四半期	1,696	1,293	76.2
2020年8月期	1,054	420	39.9

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 1,293百万円 2020年8月期 420百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2021年8月期	-	0.00	-	-	-
2021年8月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益 円 銭
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	1,472	22.6	263	92.2	246	73.8	222	54.3	36.20

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無  
 2. 2021年8月期（予想）の「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2020年9月11日付で行使の新株予約権59,000株、2020年11月18日に払込の公募増資381,100株、2020年11月20日から2021年3月31日までに行使した新株予約権17,200株及び2020年12月22日に払込のオーバーアロットメントによる第三者割当増資118,900株を含めて算定しております。

※ 注記事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P.8「2. 四半期財務諸表及び主な注記（4）四半期財務諸表に関する注記事項（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期2Q	6,261,500株	2020年8月期	5,685,300株
② 期末自己株式数	2021年8月期2Q	－株	2020年8月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期2Q	6,012,643株	2020年8月期2Q	－株

- （注） 1. 当社は、2020年8月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年8月期第2四半期の「期中平均株式数（四半期累計）」を記載しておりません。  
 2. 当社は、2020年9月2日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。このため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数（自己株式を含む）」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）  
 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により、国内の経済活動は依然として厳しい状況が続いております。また米中の対立による世界経済への影響も更に拡大することが懸念されております。

当社の属する情報サービス業界においては、リモートワークの増加等、企業の働き方が多様化する中で、インターネット関連サービス、セキュリティサービス及びDX（デジタルトランスフォーメーション）関連サービスが比較的堅調に推移しております。このような環境において、当社では、引き続き顧客との年間契約に基づくリカーリングサービスの提供による収益増加を最重要戦略とし、積極的な顧客獲得対策及び解約防止対策を実施いたしました。また、当第2四半期累計期間における新型コロナウイルス感染症による業績への影響につきましては、WEBミーティング等を積極的に活用することで営業活動の停滞を極力防ぐ対策等を講じたことにより、全般的には軽微なものとなっております。

その結果、当第2四半期累計期間の売上高は838,079千円、営業利益は260,089千円、経常利益は249,196千円、四半期純利益は212,465千円となりました。

主なセグメントの概況は以下のとおりであります。

#### a. キャッシュレスサービス事業

「キャッシュレスサービス事業」については、新型コロナウイルス感染症拡大が長期化し、巣籠もり需要が一旦落ち着いた状況となり、成長は若干鈍化しているものの、キャッシュレスサービスの需要は、スーパーマーケットを中心に引き続き堅調に推移しております。また、当第2四半期累計期間においては、前事業年度に終了したキャッシュレス・消費者還元事業に伴う顧客に対する補助金の交付額が確定したことにより、一時的な売上を計上しております。当第2四半期会計期間末における顧客数は183社（前事業年度末比8.9%増）、累計エンドユーザー数は11,646千人（前事業年度末比11.4%増）となり、当第2四半期会計期間における当社が取扱うハウス電子マネー決済額は57,281百万円（前年同会計期間は55,221百万円）と順調に推移いたしました。

その結果、同サービスの当第2四半期累計期間の売上高は502,900千円、セグメント利益は301,583千円となりました。

#### b. メッセージングサービス事業

「メッセージングサービス事業」については、引き続きデータマーケティングサービスを提供する企業やメール活用セミナーの参加企業に対し、積極的な営業活動を行いました。解約による減収分をリカバリーするには至っておりません。当第2四半期累計期間の月次平均解約率は1.1%（前事業年度は0.9%）、当第2四半期会計期間末における3年以上継続取引社数は162社（前事業年度末は153社）となりました。

その結果、同サービスの当第2四半期累計期間の売上高は253,263千円、セグメント利益は109,687千円となりました。

#### c. データセキュリティサービス事業

「データセキュリティサービス事業」については、リモートワークの普及に伴い作業端末の持ち出しが増加したことによる個人情報漏洩リスク低減を掲げ、新たな顧客開拓を行いました。当第2四半期累計期間の月次平均解約率は0.5%（前事業年度は1.0%）となりました。

その結果、同サービスの当第2四半期累計期間の売上高は55,408千円、セグメント利益は16,755千円となりました。

#### d. その他の事業（ARサービス）

「その他の事業」のARサービスでは、引き続き米国Facebook社が展開する「Spark AR」向けのコンテンツ制作ビジネスの営業活動を行いました。「Spark AR」の周知が進んだこともあり、売上高は堅調に推移しております。

この結果、同サービスの当第2四半期累計期間の売上高は26,506千円、セグメント損失は6,218千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における資産合計は1,696,556千円となり、前事業年度末に比べ641,664千円増加いたしました。

このうち、流動資産は1,441,851千円(前事業年度末から597,488千円の増加)となりました。これは主として、現金及び預金が606,965千円、前払費用が3,708千円それぞれ増加し、売掛金が12,537千円、仕掛品が555千円減少したことによるものです。

固定資産は254,705千円(前事業年度末から44,175千円の増加)となりました。これは主として、工具、器具及び備品(純額)が3,508千円、ソフトウェアが40,808千円それぞれ増加し、建物(純額)が682千円減少したことによるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は403,411千円となり、前事業年度末に比べ230,860千円減少いたしました。これは主として、未払法人税等が31,701千円、未払消費税等が3,308千円それぞれ増加し、前受金が19,949千円、預り金が244,525千円それぞれ減少したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は1,293,145千円となり、前事業年度末から872,524千円増加いたしました。これは公募による増資等により資本金と資本剰余金がそれぞれ330,029千円増加し、四半期純利益の計上により利益剰余金が212,465千円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前事業年度と比べて606,965千円増加し、1,307,313千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は20,649千円となりました。これは主として、税引前四半期純利益の計上249,196千円、減価償却費15,420千円、売上債権の減少額12,537千円、前受金の減少額19,949千円及びその他の減少247,457千円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は55,261千円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出5,892千円、無形固定資産の取得による支出51,546千円及び貸付金の回収による収入3,000千円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は641,577千円となりました。これは、株式の発行による収入660,059千円、上場関連費用の支出18,481千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の業績予想につきましては、2020年11月19日公表の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」に記載のとおりであり、当該業績予想の修正はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	700,347	1,307,313
売掛金	133,445	120,907
仕掛品	692	136
前払費用	9,718	13,426
その他	3,652	660
貸倒引当金	△3,493	△593
流動資産合計	844,362	1,441,851
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	15,987	15,304
工具、器具及び備品(純額)	6,117	9,626
有形固定資産合計	22,105	24,931
無形固定資産		
ソフトウェア	102,623	143,431
その他	0	0
無形固定資産合計	102,623	143,431
投資その他の資産		
投資有価証券	325	325
長期貸付金	15,400	15,400
敷金	31,110	30,784
保険積立金	7,614	8,436
繰延税金資産	46,507	46,507
その他	479	928
貸倒引当金	△15,635	△16,039
投資その他の資産合計	85,801	86,342
固定資産合計	210,529	254,705
資産合計	1,054,892	1,696,556

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	21,479	23,037
短期借入金	100,000	100,000
未払金	20,210	18,773
未払費用	23,304	21,787
未払法人税等	16,026	47,728
未払消費税等	32,876	36,184
前受金	118,478	98,529
預り金	301,895	57,370
流動負債合計	634,271	403,411
負債合計	634,271	403,411
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	331,500	661,529
資本剰余金	331,692	661,722
利益剰余金	△242,571	△30,106
株主資本合計	420,621	1,293,145
純資産合計	420,621	1,293,145
負債純資産合計	1,054,892	1,696,556

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
売上高	838,079
売上原価	233,467
売上総利益	604,611
販売費及び一般管理費	344,521
営業利益	260,089
営業外収益	
受取利息	15
助成金収入	3,121
貸倒引当金戻入額	3,000
その他	168
営業外収益合計	6,305
営業外費用	
支払利息	654
上場関連費用	16,481
その他	63
営業外費用合計	17,199
経常利益	249,196
税引前四半期純利益	249,196
法人税等	36,730
四半期純利益	212,465



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	249,196
減価償却費	15,420
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,495
受取利息	△15
支払利息	654
助成金収入	△3,121
上場関連費用	16,481
売上債権の増減額(△は増加)	12,537
たな卸資産の増減額(△は増加)	522
仕入債務の増減額(△は減少)	1,558
未払金の増減額(△は減少)	△726
前受金の増減額(△は減少)	△19,949
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,308
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△404
その他	△247,457
小計	25,508
利息の受取額	15
利息の支払額	△658
法人税等の支払額	△7,336
助成金の受取額	3,121
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,649
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△5,892
無形固定資産の取得による支出	△51,546
貸付金の回収による収入	3,000
その他の支出	△822
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,261
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
株式の発行による収入	660,059
上場関連費用の支出	△18,481
財務活動によるキャッシュ・フロー	641,577
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	606,965
現金及び現金同等物の期首残高	700,347
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,307,313

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年11月19日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。株式上場にあたり、2020年11月18日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式381,100株（発行価格1,400円、引受価額1,288円、資本金組入額644円）の発行により、資本金及び資本準備金はそれぞれ245,428千円増加しております。

さらに、2020年12月22日を払込期日とする有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式118,900株（割当価格1,288円、資本金組入額644円）の発行により、資本金及び資本準備金はそれぞれ76,571千円増加しております。

この結果、新株予約権の行使による増加分を含めて、当第2四半期会計期間末において資本金及び資本準備金はそれぞれ661,529千円となっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第2四半期累計期間（自 2020年9月1日 至 2021年2月28日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損 益計算書 計上額 (注) 2
	キャッシュ レスサービ ス事業	メッセー ジサービ ス事業	データセキ ュリティサ ービス事業	その他の事 業 (ARサー ビス)	計		
売上高							
外部顧客への売上高	502,900	253,263	55,408	26,506	838,079	—	838,079
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	502,900	253,263	55,408	26,506	838,079	—	838,079
セグメント利益 又は損失 (△)	301,583	109,687	16,755	△6,218	421,808	△161,718	260,089

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△161,718千円は、各報告セグメントに含まれない全社費用が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。